

# 令和4年度事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

## 【1】研修事業（公益事業Ⅰ）

### 1. 鍼灸医学の進歩発展を図るための事業

#### (1) 学術講演会の開催

11月20日(日) 登録会館大ホールとオンライン併催で第55回東洋鍼灸医学大講演会を入場者数を定員の1/3に限定する等、感染対策を徹底して開催した。

講演：第1部 13:10～14:40

テーマ 「東洋医学で自分の身体を知ってみませんか？」

講師 森ノ宮医療学園専門学校・東洋医療専門学校非常勤講師  
安本鍼灸本院 一井綾乃先生

第2部 14:50～16:20

テーマ 「長寿社会における鍼灸医療の役割～健康長寿の伸延を支援する鍼灸」

講師 明治国際医療大学学長 矢野忠先生

参加者 59名（会場41名、オンライン18名）

運営スタッフ14名

#### (2) 財団の生涯研修会の開催（5回開催）

第1回 5月29日(日) 10:30～16:10

演題1 「療養費取扱い研修会」

講師1 京都府鍼灸師会理事・保険部長 平野健一先生

演題2 「施術所管理と広告制限」

講師2 中和医療専門学校はり、きゅう科 学科長 清水洋二先生

演題3 「長距離ランナーに多いスポーツ障害と鍼灸治療」

講師3 森ノ宮医療技術専門学校鍼灸科 教務部長 松下美穂先生

第2回 6月26日(日) 10:30～16:10

演題1～3 「腰痛のみかた」

講師1～3 元明治国際医療大学教授 竹内義享先生

第3回 10月30日(日) 10:30～16:10

演題1 「コロナ感染症後遺症への漢方的治療・鍼灸治療」

講師1 大慈堂熊野鍼灸治療院院長 熊野利明先生

演題2 「コロナ感染後遺症の実態」

講師2 きたにし耳鼻咽喉科院長 北西剛先生

演題3 「新型コロナ感染後の漢方併用鍼灸治療症例」

講師3 東海大学附属病院 東洋医学科 山中一星先生（Web利用による遠隔からの講義）

第4回 11月20日(日)（東洋鍼灸医学大講演会と併催）13:10～16:20

(1)学術講演会の開催参照

第5回 1月15日(日) 10:30～16:10

演題1 「お灸と養生」

講師1 お灸堂 鋤柄誉啓先生

演題2・3 「緩和ケア鍼灸」

講師 2・3 明治国際医療大学鍼灸学部 特任教授 福田文彦先生の年 5 回開催した。今年度は特例として、15 ポイント以上の所定単位取得者（他府県鍼灸師会研修会受講者を含む）は 20 名であった。

### (3) 鍼灸師の学術向上のための研修会

#### 学術研修会の実施（2 回）

青年部主催研修会：6 月 26 日(日)の生涯研修会と併催

女性部主催研修会：10 月 30 日(日)の生涯研修会と併催

近畿ブロック青年部研修会 2023 年 3 月 12 日(日) 和歌山市で開催され、青年部長が出席した。

(4) 第 17 回日本鍼灸師会全国大会 in 愛知（12 月 3 日(土)～4 日(日) ウィンクあいち（名古屋市）と Web 併催で「ヒトを診る－東洋医学の全体観－」をテーマに開催され、本会から会員 8 名（会場 3 名、オンライン 5 名）が出席した。

## 2. 鍼灸学術の医学的研究に関する事業

(1) 日鍼会 E ラーニング研修システム（NELS）への参加奨励を行った。

## 【2】 公衆衛生事業（公益事業Ⅱ）

### 1. 鍼灸業務の振興及び普及に関する事業

(1) 鍼灸普及用刊行物「はりきゅっていきましょう！」（一般向け年 4 回発行）

令和 4 年春号（4 月 1 日）、夏号（7 月 1 日）、秋号（10 月 1 日）、新春号（令和 5 年 1 月 1 日）の 4 回発行した。鍼灸学校（関西地区）、京都府下自治体、京都府医療関係団体、全国鍼灸師会（メール配信）、京都府議会議員、京都市議会議員他に配布した。

(2) パンフレット等の作成及び配布（普及部・保険部・組織部）・・・入会案内のパンフレット作製

(3) 日本鍼灸師会発行の鍼灸普及用刊行物（日本鍼灸新報、けんこう定期便）の周知

・日鍼会「保険ガイド」リーフレットを東洋鍼灸医学大講演会の会場参加者、また「府民交流フェスタ」の本会鍼灸体験ブース来訪者に配布した。

・日鍼会「スポーツ鍼灸」リーフレットを「宇治川マラソン」の本会鍼灸体験ブース来場選手に配布した。

(4) 鍼灸普及用ポスターの配布・・・未実施

(5) 京都府医療推進協議会イベントへの協力

例年 5 月頃に京都府医師会館においてシンポジウムを開催し、鍼灸体験ブースを設置する予定であったが、コロナ禍のため中止となった。

(6) 京鍼会リニューアルホームページの運用・充実化

閲覧しやすいようにページ構成を変更し、各部便りのページを増設し、各部長が直接入力できるようにした。

### 2. 鍼灸業務を通して公衆衛生の向上に寄与する事業

(1) 府・市民の健康増進活動の普及・推進及び健康相談

(2) 大規模災害時の鍼灸施術ボランティア体制充実化（京都府内鍼灸団体と協働）

京都府と締結（令和 4 年 1 月 17 日）した「災害時の業務提供に関する協定書」に基づき、被災地での災害支援ボランティアを円滑に行うための準備を進めた。また、他府県被災地への災害支援鍼灸ボランティアの派遣を円滑に行うため、普段から日鍼会近畿ブロック鍼灸師会のスポーツイベント等の行事に参画し、交流を深める提案を近畿ブロック会議（9 月 25 日(日) 神戸市で開催）に提案し、協議を行った。

(3)地域医療との連携及び公衆衛生の普及啓発活動（地域活動）

府下地区の地域開催イベントへの参加と鍼灸普及・啓発活動

①京都 YMCA インターナショナル・チャリティラン

9月19日(日) 府立嵐山東公園での大会に、参加ランナー・観覧者・運営スタッフ他に対する鍼灸体験会を行う予定であったが、台風接近により12月11日(日)に延期となった。12月11日(日)は本会の他の行事と重なり、現地参加ができなかったため、灸サンプルの物品提供という形態で参加した。

②府民交流フェスタ

11月3日(祝木) 京都府立植物園で開催された標記イベントに初めて出展し、ブース来場者150名に擦過鍼と円皮鍼を施術し、大変好評を博した。

③2023 京都マラソン

2月19日(日)に3年振りに実際のコースを駆ける形態で開催されたが、密を避けるため、みやこめっせの鍼施術場所(3階ロビー)がランナーの着替えスペースに利用されることになり、今年度のランナーケアはできなくなった。

④2023 宇治川マラソン

2月26日(日) 京都府山城総合運動公園(太陽が丘)をスタート及びゴール地点で開催され、ゴール地点付近に初めて鍼灸体験ブースを出展し、44名の選手が擦過鍼・台座灸・円皮鍼を体験した。

\*ワールドマスターゲームズ関西は2027年5月開催に決定した。

(4)厚生労働大臣免許保有証に関する業務・・・申請の受付・発送・管理等

3件(新規1件、更新2件)の申請を受理し処理を行った。

3. 療養費制度適用推進事業

(1)療養費制度の普及啓発と手続き支援(療養費払い適正運用作業部会の開催)

4月3日、5月8日、6月5日、7月3日、8月7日、9月4日、10月23日、11月27日、12月25日、2023年1月22日、2月26日、3月26日

\*10月から作業部会を毎月第4日曜日に行うように変更した。

(2)医療保険および老人保健に関する手続き支援

(3)労災保険に関する手続き支援

(4)生活保護および公費負担医療に関する手続き支援

(5)療養費制度の取扱い及び支援に関すること

①保険取扱講習会の開催(会員外を含む)

②鍼灸師向け講習会の開催(5月29日)生涯研修会と併催

4. 介護支援に関する事業

(1)リハビリ医学講座の開催(令和3年度延期講座)

コロナ禍により令和3年度から延期となっていた「リハビリ医学講座」は第4回を6月26日(日)、第5回を7月24日(日)、第6回を9月18日(日)に開講し終了(3回で延べ20名が受講)した。

(2)認定機能訓練指導員実務者研修会の受講促進・・・日鍼会主催の標記研修会の受講を奨励した。

【3】会員相互扶助事業(共益事業)

1. 会員の学術技能の研鑽及び資質の向上に関する事業

(1)会員の資質向上及び指導育成に関すること

会員のニーズが高い、会員のスキルを伝授するための会員主体のサークル活動  
本会熊野利明会員による「東洋医学暮らしの倶楽部」の実施

第4弾 7月31日(日) 「腹を診る鍼灸・漢方～夏バテに補中益気湯～」

第5弾 12月18日(日) テーマ「漢方薬入門 最初の一步～傷寒論から始めましょう。  
鍼灸と漢方のコラボ～」

(2)情報や会報等のメール配信及び SNS を利用した双方向連絡体制の促進

メールアドレス登録者のメーリングリスト（日本鍼灸師会サーバーを活用）から、タイムリーに情報を発信。Facebook、Twitter、Instagram から会員、会員外に情報発信。

(3)ホームページを活用した会員向け情報発信の充実化

- ・交付金募集、イベント案内などのトピックスをタイムリーに掲載。
- ・閲覧しやすいようにページ構成を変更し、各部便りのページを増設し各部長が直接入力できるようにした。

(4)学生会員の拡充

鍼灸学校との関係強化・・・会長が京都医健専門学校教育課程編成委員・学校関係者評価委員に就任（6月14日(火)、3月9日(木)の2回委員会に出席）。京都医健専門学校に外部臨床実習受け入れ施術所を通知。

学生のニーズに基づく制度の展開・・・学生の鍼灸施術所見学の再開準備。

2. 会誌、刊行物の発行及び調査研究に関する事業

(1)会務情報機関紙「京鍼」の発行（会員向け年4回発行）

行事・研修会等参加報告、各部活動報告等を記載し、内容の充実化を図った。

(2)会員及び一般市民の健康に関する調査研究

東洋鍼灸医学大講演会（府民公開講座）、府民交流フェスタ、宇治川マラソン等の府民市民参加行事の機会を利用して、鍼灸のニーズを把握した。

3. 鍼灸師の社会的地位の向上と相互福祉に関する事業

(1)会員の慶弔、お見舞いに関すること・・・結婚祝い金（1名）

(2)災害時の会員安否確認（連絡体制整備）、被災会員の援助・・・被災災害発生なし。

(3)会員サポート事業（会員の福利厚生事業） 団体保険・特別加入労災保険の加入勧奨

(4)会員証の発行（携帯用を含む）・・・発行済

(5)ステッカー等の発行・・・門標配布

(6)公益目的事業の推進に資するため、会員の相互扶助活動

地区長会議の開催・・・今年度は未実施

地区との連携、地区再編を活用した地区活動の推進・・・府民交流ファスタや宇治川マラソンにおけるボランティア活動を通じた地区との交流・地区鍼灸院の紹介

4. 表彰・感謝状に関すること

叙勲・褒章、厚生労働大臣表彰、日本公衆衛生協会会長表彰、京都府知事表彰、京都市長表彰、日鍼会会長表彰、本会会長表彰等・・・今年度は該当者なし

5. 会員名簿の作成、会員異動の管理に関すること

(1)会員の異動管理・・・都度実施

(2)会員名簿の作成・・・令和4年度版を7月末発行

6. 会員の多様化

準会員（正会員以外の鍼灸師）・賛助会員（法人・個人）の入会促進・・・勧誘活動継続

【4】法人管理事業

1. 諸会議の開催及び運営に関すること

(1)定期総会の開催 令和4年5月22日(日)、登録会館及びオンライン

- (2)理事会の開催(6回) 4月16日(土)、6月18日(土)、8月27日(土)、10月8日(土)、1月21日(土)(全員オンライン)、3月18日(土)(全員オンライン)
- (3)業務執行理事会の開催(6回) 理事会非開催月月末の火曜日に原則オンラインで開催してきたが、7月から第2水曜日に変更した。
- 5月17日(火)、7月13日(水)、9月14日(水)、11月9日(水)、12月14日(水)、2月8日(水)

議事録を作成して、理事・監事に周知する。

- (4)会務連絡会の開催 理事会1週間前の土曜日に原則オンラインで実施。
- 4月は中止。6月11日(土)。8月20日(土)。10月1日(土)。1月14日(土)。3月11日(土)

- (5)監査会の開催 令和4年4月16日(土) 京都府鍼灸会館

## 2. 財務執行と財産管理に関すること

- (1)予算の編成、執行ならびに決算に関すること・・・適宜実施
- (2)物品の調達、処分及び財産管理に関すること・・・適宜実施

## 3. 法制に関すること

- (1)定款、規則等の制定及び改廃に関すること・・・令和4年度は特になし
- (2)関係法令の研究及び周知に関すること・・・適宜実施

## 4. 庶務に関すること

- (1)会員台帳の作成保管・・・適宜実施
- (2)文書の作成、発送、保管及び整理・・・適宜実施
- (3)会議資料及び議事録の作成並びに保管

定時会員総会議事録、理事会議事録、業務執行理事会議事録を作成し保管。

5. 儀式・儀典等の企画、運営に関すること・・・令和4年度は儀式・儀典等なし。
6. 事務所及び職員の管理運営に関すること・・・適宜実施。
7. 対外的活動に関すること

- (1)(公社)日本鍼灸師会の通常代議員総会等への出席 6月12日(日)ステーションコンファレンス万世橋(会場出席1名、委任状2名)

- (2)(公社)日本鍼灸師会近畿ブロック会議 9月24日(土)~25日(日) ホテル北野プラザ六甲荘で、「令和5年度日鍼会全国大会 in 近畿」の実施方法を主たる議題で開催され、本会から3名が参加した。

近畿ブロック青年部長会議 3月11日(土) 和歌山市(わかやまJAビル)で開催され、青年部長が出席した。

近畿ブロック青年部研修会 3月12日(日) 和歌山市(T-LABO)で開催され、青年部長が出席した。

関係師会の会議・行事等への参加・・・1月4日(水) (公社)大阪府鍼灸師会法人設立60周年記念式典(シティプラザ大阪)に参列。

- (3)(公社)日本鍼灸師会の諸行事及び全国大会等への参加

日鍼会全国師会長会議出席 11月20日(日) ステーションコンファレンス万世橋

日鍼会第17回全国大会 12月3日(土)~4日(日) ウィンクあいち(名古屋市)で「第18回全国大会 in 近畿」の実施方針を報告した。

- (4)行政・関係省庁との折衝

- ・「京都府原油価格・物価高騰対策緊急支援事業交付金」として、10月から12月に保険診療を行う府下の鍼灸施術所に対して、一律に50,000円が支給されることになった。
- ・「京都市中小企業等物価高騰対策支援金」が令和4年10月31日までに開業して、今後

も事業を継続する意思のある（京都市内に主たる事務所を有する）中小企業及び個人事業者を対象に、法人は5万円、個人は3万円が支給されることになった。

(5)医療関係団体等の会議・行事への参加

コロナ禍のため、例年5月に開催される京都府医師会館における医療推進協議会シンポジウムは中止となった。医療推進協議会代表者会議も実施されず。

(6)鍼灸関連団体の会議・行事への参加

(公社)全日本鍼灸学会学術大会が6月3日(金)～5日(日)に東京有明医療大学及びオンラインで併催された。

8. 関連諸団体及び教育機関との連携、協力及び交流に関すること

(1)厚生労働省、京都府、京都市、府下行政

- ・「京都府原油価格・物価高騰対策緊急支援事業交付金」制度実施。
- ・「京都市中小企業等物価高騰対策支援金」応募。

(2)(公財)東洋療法研修試験財団、鍼灸マッサージ等国民年金基金

- ・(公財)東洋療法研修試験財団が第55回東洋鍼灸医学大講演会を共催
- ・生涯研修会を(公財)東洋療法研修試験財団に実施申請。修了者に対する修了証書を交付申請。

(3)(公社)日本鍼灸師会、都道府県鍼灸師会、各鍼灸関連団体

- ・(公社)京都府鍼灸マッサージ師会 法人認可70周年記念式典参列 1月22日(日)リーガロイヤルホテル京都
- ・(公社)京都府視覚障害者協会 定時総会(6月)・新年会(1月)はコロナ禍のため関係者だけで実施(来賓出席なし)。

(4)京都府医療推進協議会、(一社)京都府医師会他各医療関連団体

(5)(公社)東洋療法学校協会、医科大学、鍼灸大学、鍼灸師養成学校

卒業式来賓出席：京都仏眼鍼灸理療専門学校(3月11日)

学内関係者だけで実施されたため祝電：明治国際医療大学(3月14日)、京都医健専門学校(3月22日)

【5】その他公益目的を達成するために必要な事業

(1)新公益法人制度の対応：公益社団法人の事業実施

京都府鍼灸会館前に、経理書類(貸借対照表)を公示。

(2)公益活動支援：救命講習・応急手当講習への推奨派遣・・・未実施

(3)その他公益に関する事業・・・特に記載事項なし

以上